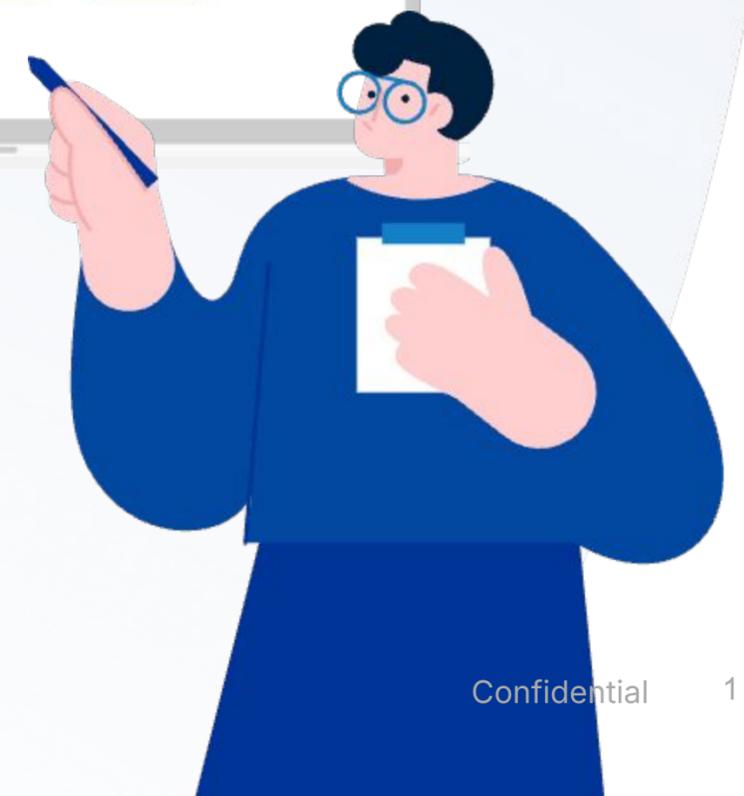
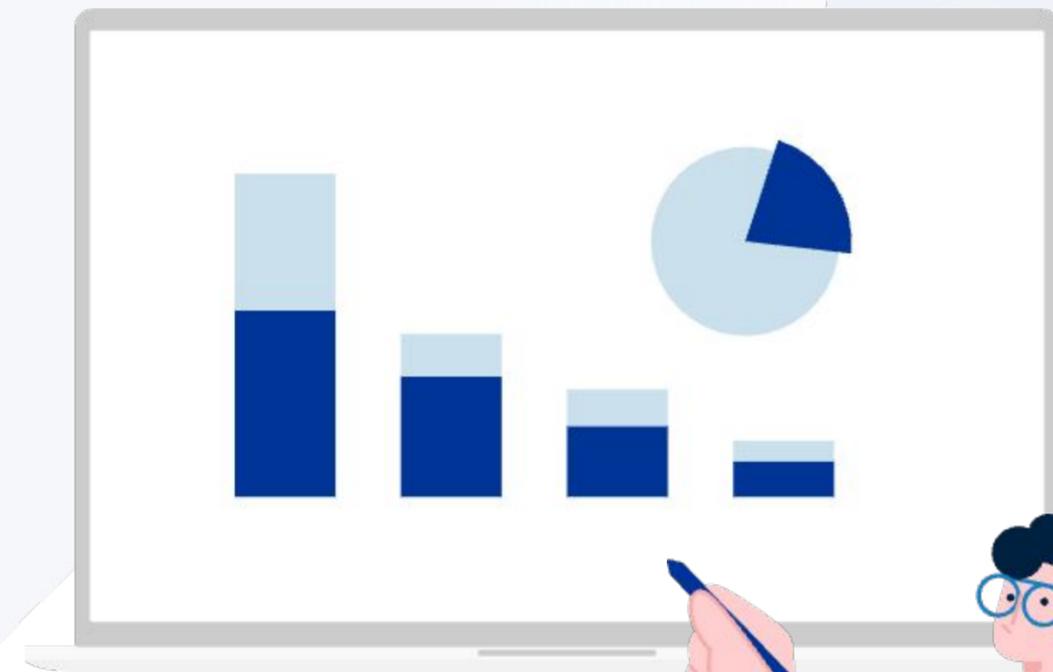


# HRMOS採用 レポートウェビナー<設定編>



## 本ウェビナーの構成

01 HRMOSレポート活用までのステップ

02 HRMOSレポートを使いこなす数値の見方

03 HRMOSレポートのご紹介

実践：目標対実績レポート設定

実践：HRMOSレポート確認

**HRMOS** 採用  
ハーモス  
powered by **BIZREACH**

POINT



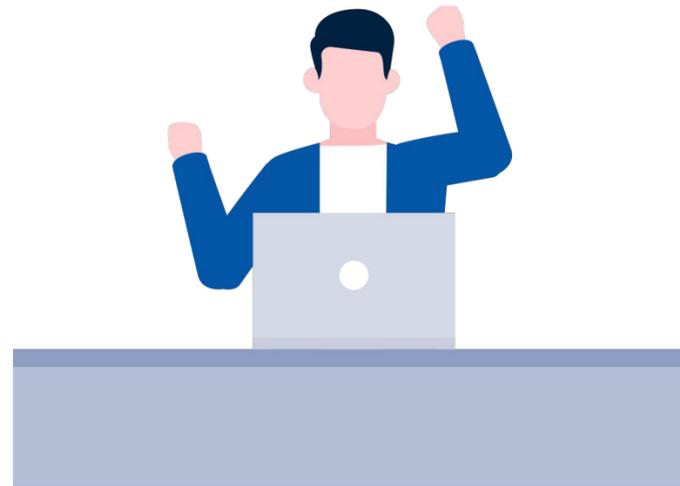
## HRMOSレポート活用までのステップ

# HRMOSレポートを通して 採用目標に対する「現状把握」ができるようになる！

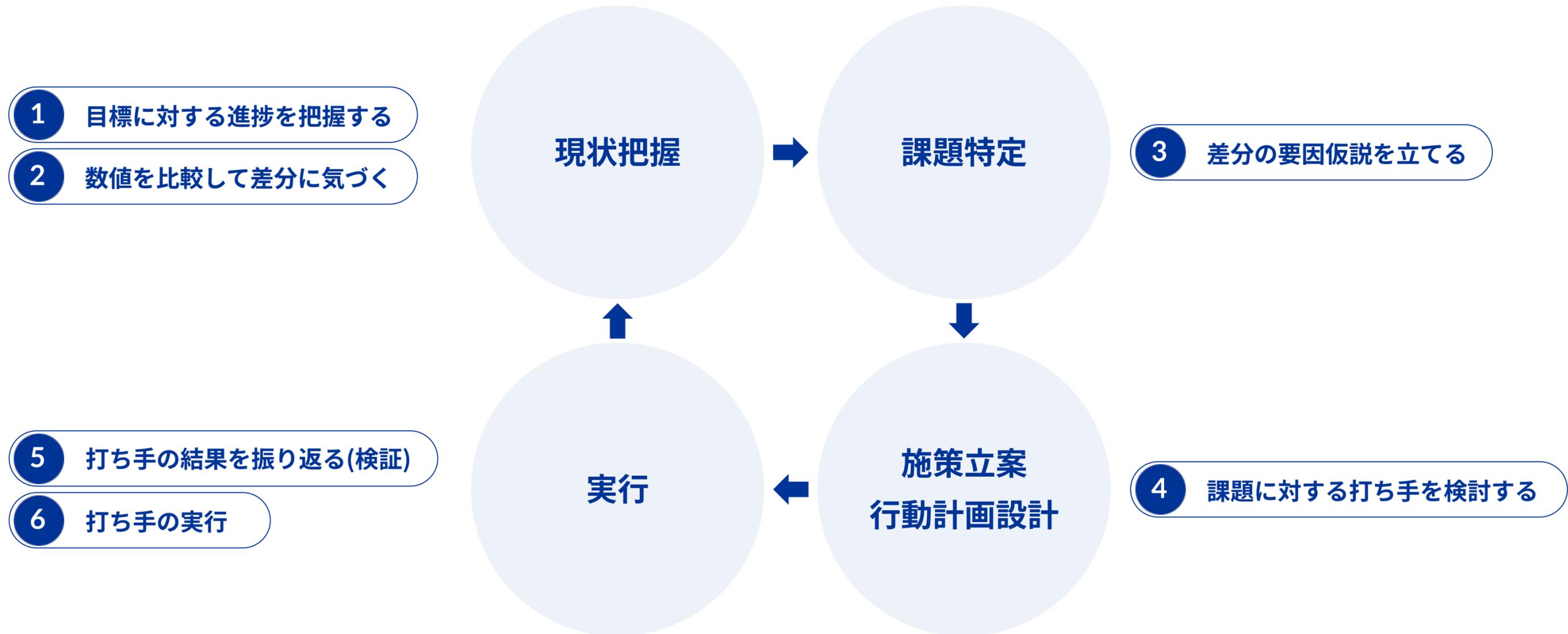


なぜ「現状把握」なのか？

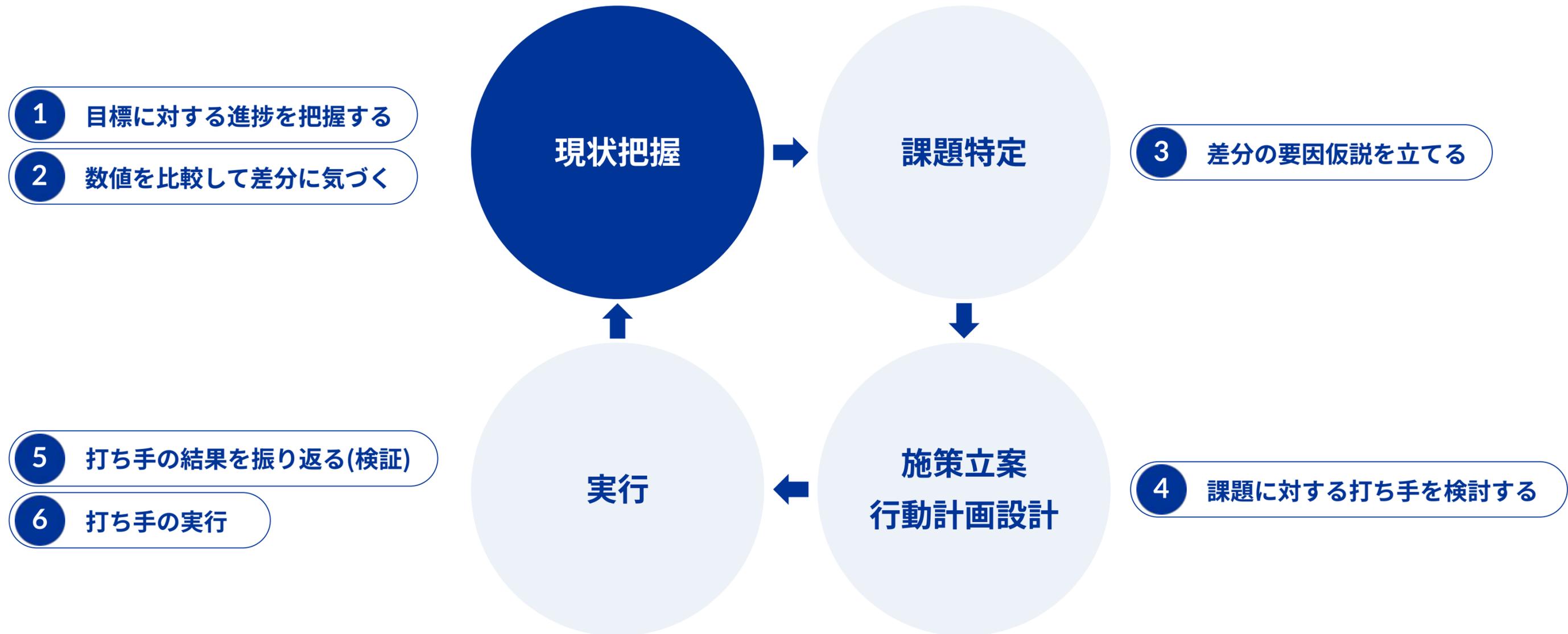
## 採用活動の「現状を知る」ことが第一ステップ



## 目指す状態＝データを元に仮説検証を繰り返し、最適な意思決定が遂行できている状態



採用目標の達成に向けて、まずは「現状把握」から始めましょう！



採用目標の達成に向けて、まずは「**現状把握**」から始めましょう！

採用状況の可視化ができる

採用目標に対する進捗の把握ができる

各ステップで何が起きているのか詳細の把握ができる

POINT

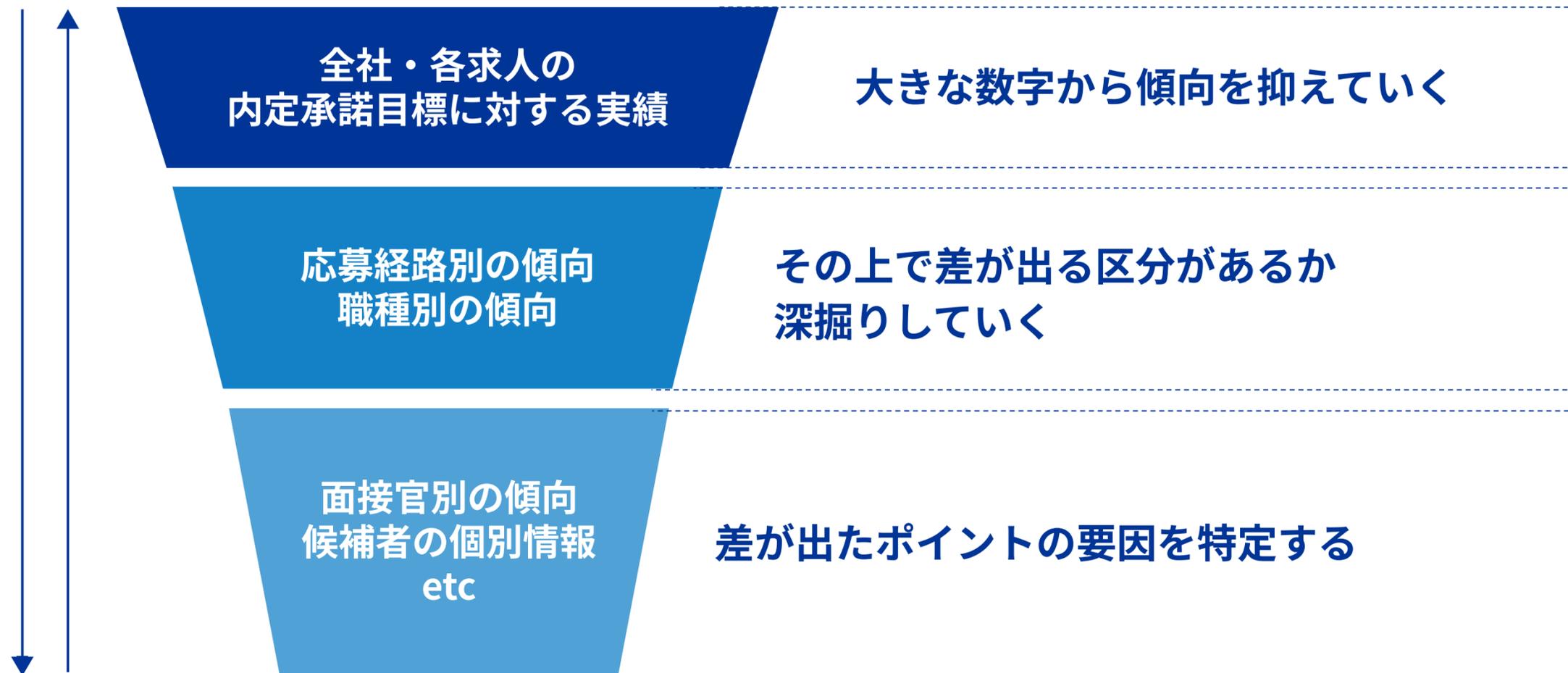


## HRMOSレポートを使いこなす数値の見方

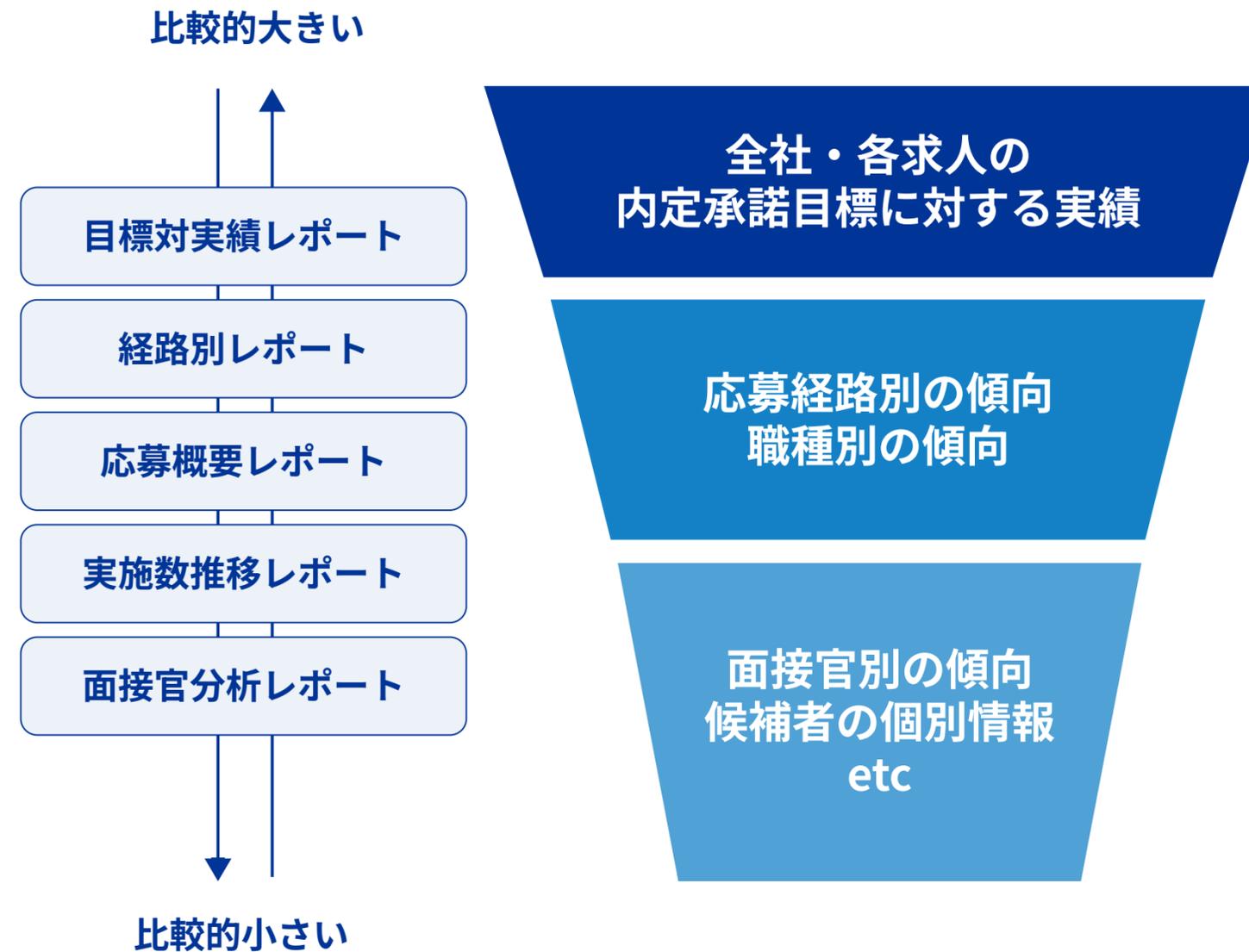
まずは以下3つのポイントを抑えましょう

- 「鳥の目・虫の目」を意識して数字を見る
- 主観による憶測ではなく、比較による課題特定を行う
- 数字をみる習慣を作る

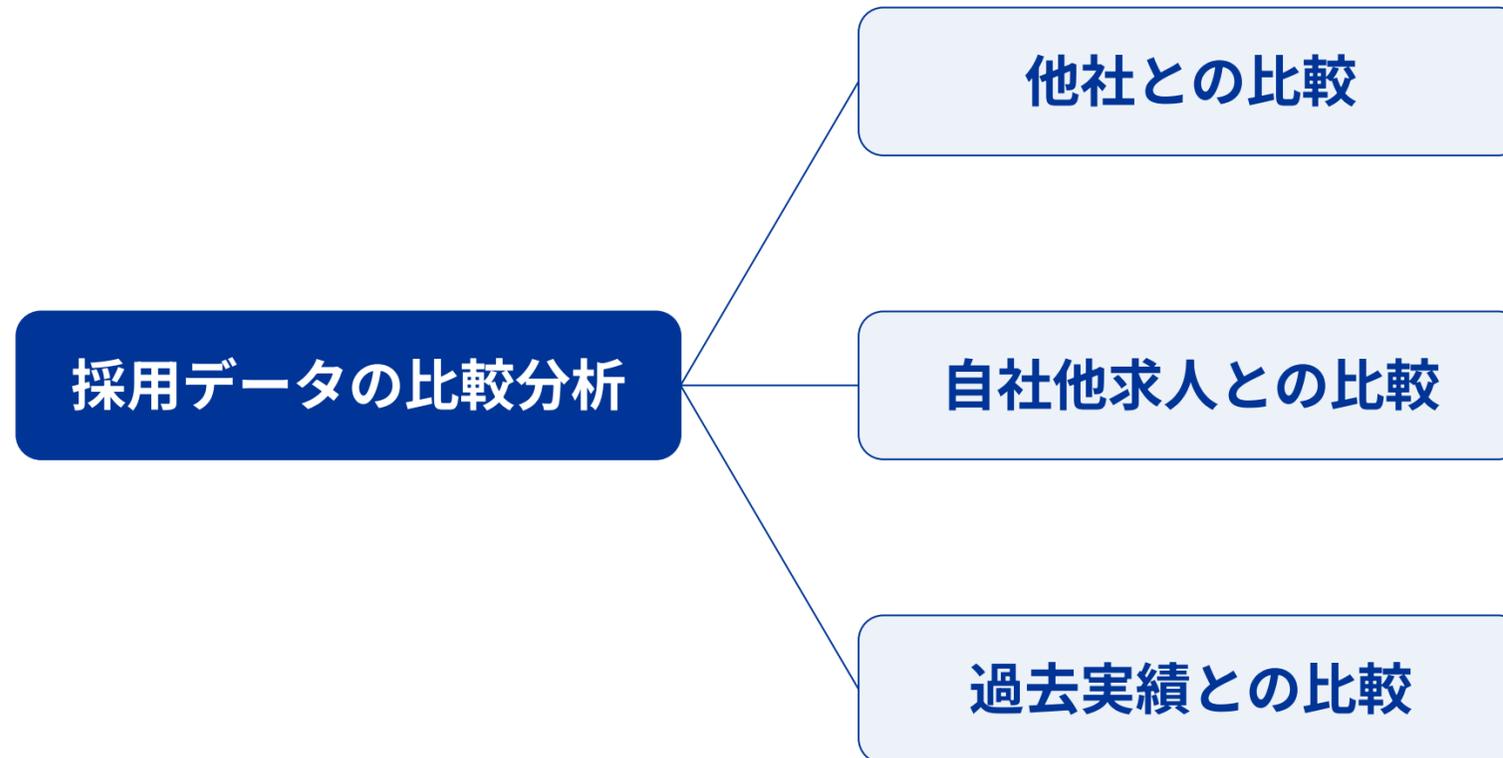
## 大きい数字から小さい数字まで目線を意識し、差分を見つける流れを掴みましょう



## 大きい数字から小さい数字まで目線を意識し、差分を見つける流れを掴みましょう



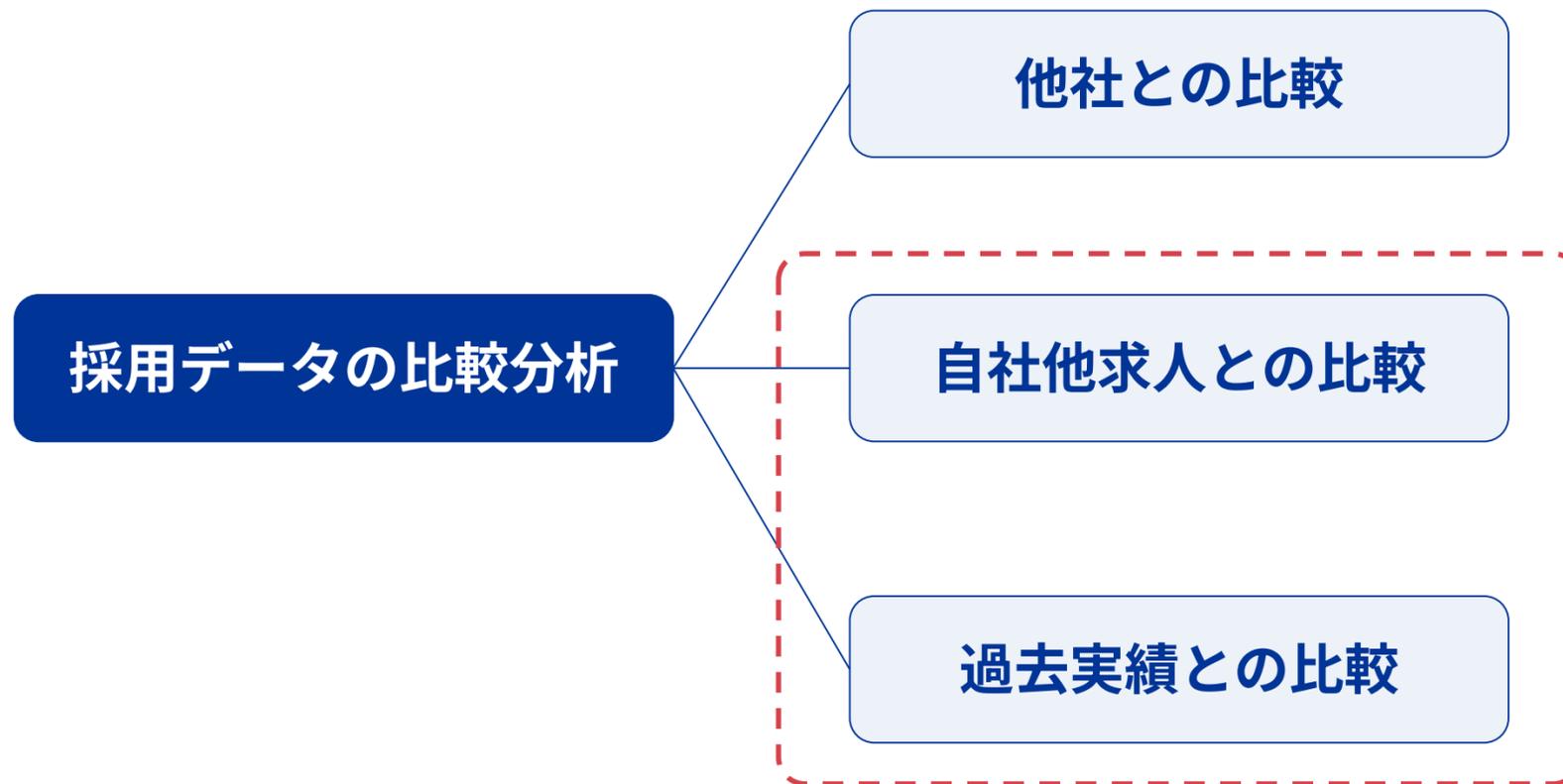
## 比較分析には以下3つの要点があります



エンジニア職の中でも、  
アプリエンジニアは好調なのに  
リードエンジニアは不調なのはなぜだろうか？

2023年のアプリエンジニアは目標の早期達成ができたが、  
2024年は調子が悪い気がする。  
なぜだろうか？

採用活動の良し悪しは「自社の基準数値」を元に判断を行います。  
定期的なレポート閲覧で、まずは「自社の基準数値」を体得しましょう



HRMOSにて確認が可能！

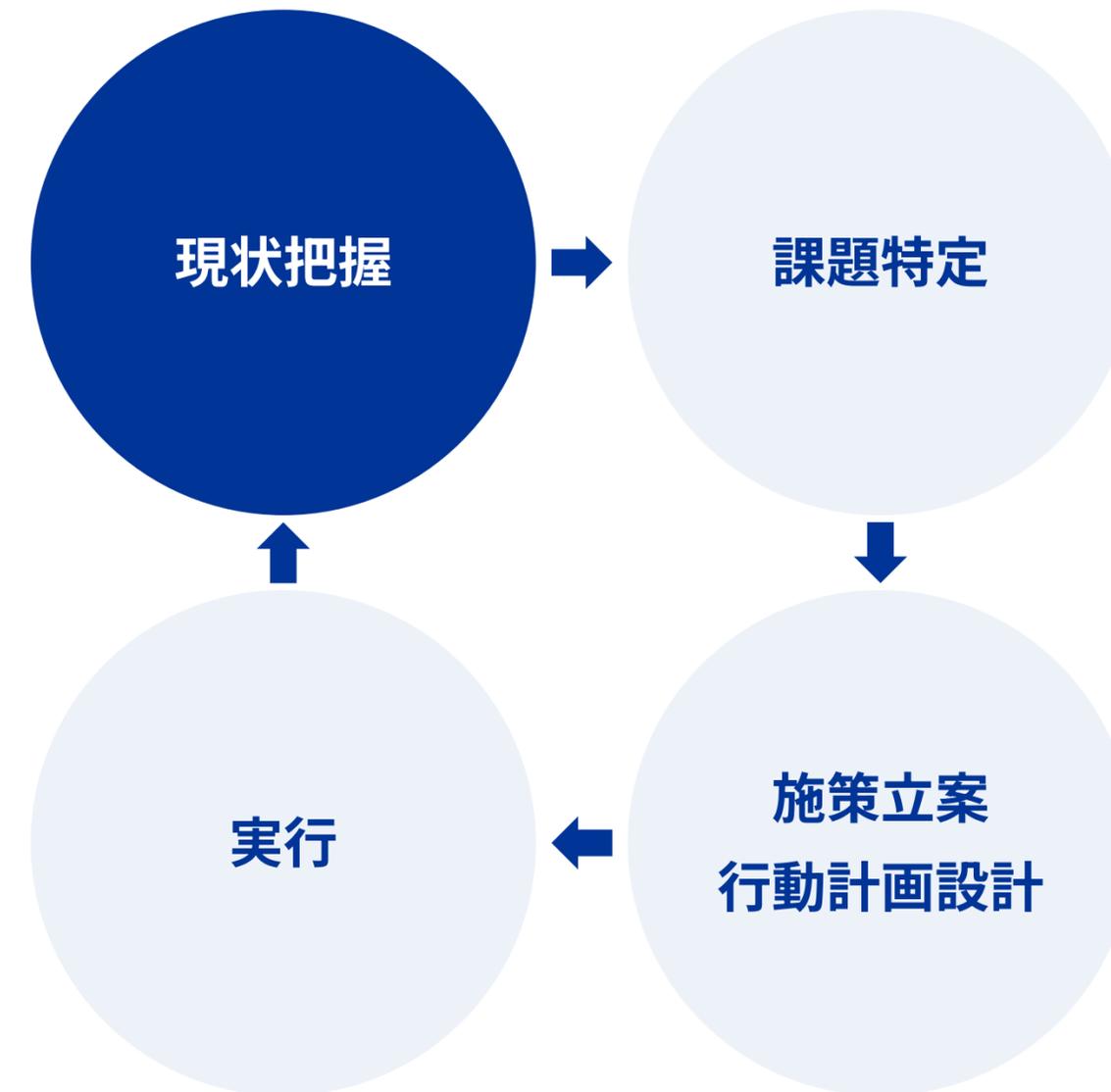
## 定期的な習慣にするために、行動計画をたて遂行しましょう

### 例

いつ	どこで	誰が	どのレポートで	どの数値を
隔週の	採用チーム定例で	各採用担当者が	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応募概要レポートを使って</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各応募経路からの応募傾向</li> <li>・ 担当領域の求人の転換率傾向</li> </ul>
月末の	人事部長会議で	採用責任者が	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目標対実績レポート</li> <li>・ 応募概要レポートを使って</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目標に対する進捗</li> <li>・ GoodとMoreの共有</li> <li>・ 次月以降の目標達成に向けた対応策</li> </ul>

## 「現状把握」の際に、以下3つの観点を意識してみてください

- ① 鳥の目・虫の目を意識して数字を見る
- ② 主観による憶測ではなく、比較による課題特定を行う
- ③ 数字をみる習慣を作る



POINT



# HRMOSレポートのご紹介 & 設定

## HRMOS採用では、5個のレポートをご用意しています

レポート名	確認できる数値
目標対実績レポート	<ul style="list-style-type: none"><li>採用の決定人数に対する充足状況をリアルタイムに把握できる</li></ul>
経路別レポート	<ul style="list-style-type: none"><li>経路別の応募・内定数と転換率トレンドを把握できる</li></ul>
応募概要レポート	<ul style="list-style-type: none"><li>各求人に対する応募～内定までの数と転換率が確認できる</li><li>各求人の選考詳細（例：一次面接実施後辞退は何名か、等）が把握できる</li><li>バイネームでの候補者確認によるネクストアクション策定ができる</li></ul>
実施数推移レポート	<ul style="list-style-type: none"><li>各求人に対する応募～内定までの実施数・実施予定数が確認できる</li></ul>
面接官分析レポート	<ul style="list-style-type: none"><li>面接官ごとの通過率や内定率がわかる</li><li>面接官ごとの選考アサイン数がわかる</li></ul>

## 本日は「現状把握」にぜひ活用いただきたい2つのレポートをご紹介します

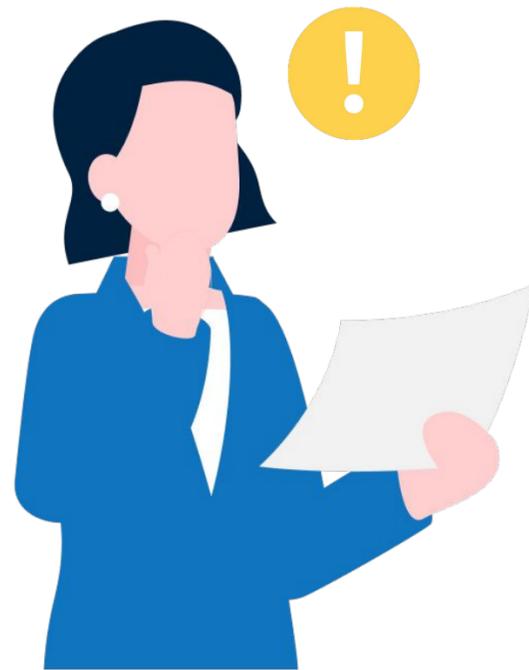
レポート名	確認できる数値
目標対実績レポート	<ul style="list-style-type: none"><li>採用の決定人数に対する充足状況をリアルタイムに把握できる</li></ul>
経路別レポート	<ul style="list-style-type: none"><li>経路別の応募・内定数と転換率トレンドを把握できる</li></ul>
応募概要レポート	<ul style="list-style-type: none"><li>各求人に対する応募～内定までの数と転換率が確認できる</li><li>各求人の選考詳細（例：一次面接実施後辞退は何名か、等）が把握できる</li><li>バイネームでの候補者確認によるネクストアクション策定ができる</li></ul>
実施数推移レポート	<ul style="list-style-type: none"><li>各求人に対する応募～内定までの実施数・実施予定数が確認できる</li></ul>
面接官分析レポート	<ul style="list-style-type: none"><li>面接官ごとの通過率や内定率がわかる</li><li>面接官ごとの選考アサイン数がわかる</li></ul>

こんなシーンでお困りではありませんか？



明日の採用チームMTGで、  
採用目標に対する現在の進捗報告を  
する必要がある・・・

## 目標対実績レポートの活用例



目標対実績レポートにて、  
期日までの現状を確認し、  
報告の準備をしよう！

こんなシーンでお困りではありませんか？



- 月末の採用チームMTGで、
- 不調な求人の転換率
  - 好調な求人に相性の良い応募経路を報告する必要がある・・・

## 応募概要レポートの活用例



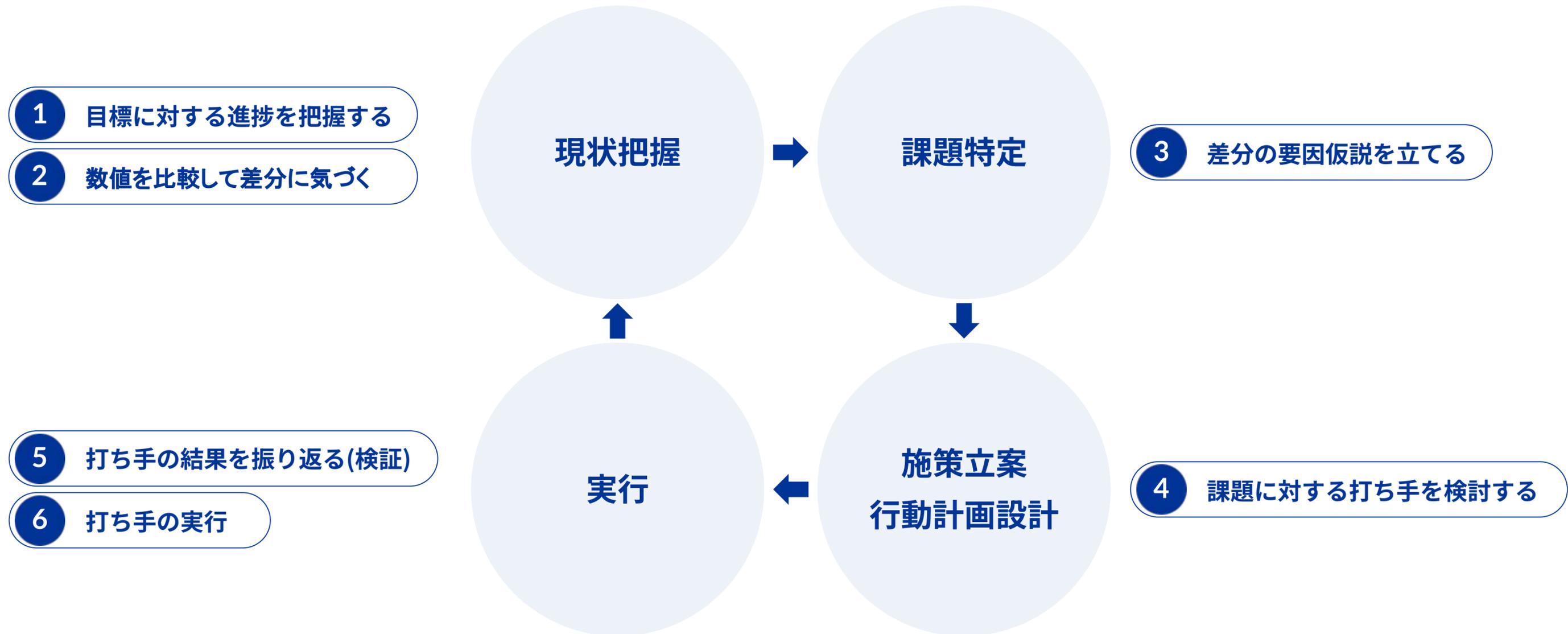
応募概要レポートで、  
各求人の変換率や  
応募経路別の実績がわかるから、  
確認しよう！

POINT

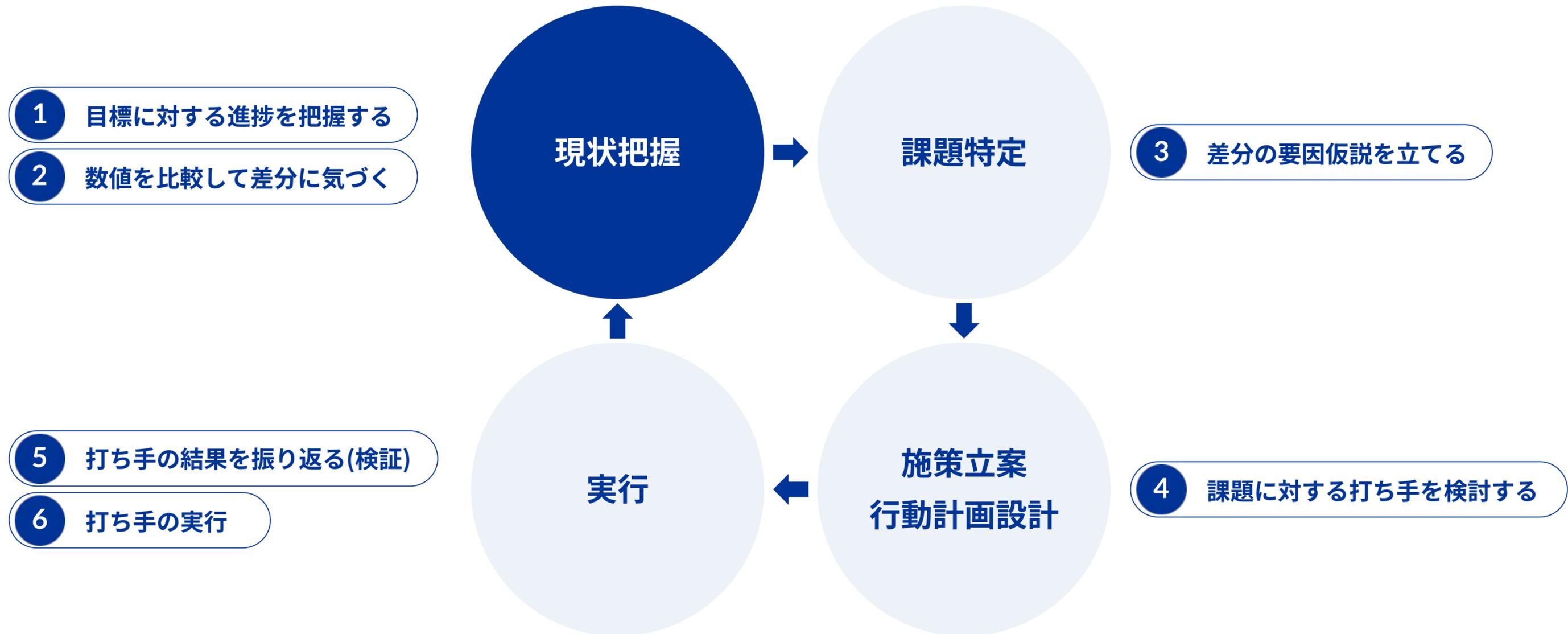


## 本ウェビナーのまとめ

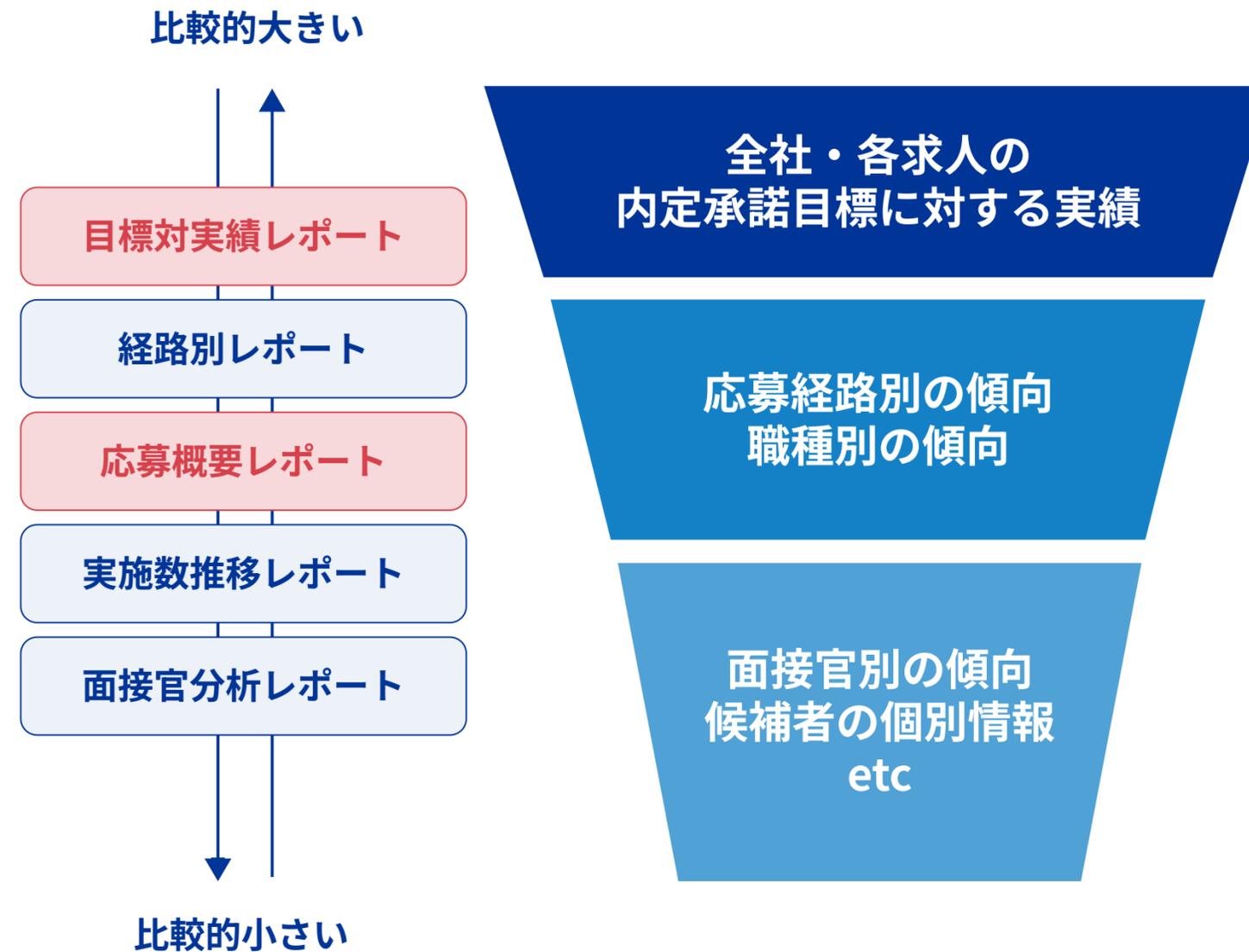
## 目指す状態＝データを元に仮説検証を繰り返し、最適な意思決定が遂行できている状態



## 採用目標の達成に向けて、まずは「現状把握」から始めましょう！



## 現状把握に向けて、目標対実績レポート・応募概要レポートを活用しましょう



## 定期的な現状把握が、課題解決への第一歩。まずはレポートの確認を習慣にしましょう！

### 例

いつ	どこで	誰が	どのレポートで	どの数値を
隔週の	採用チーム定例で	各採用担当者が	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応募概要レポートを使って</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各応募経路からの応募傾向</li> <li>・ 担当領域の求人の転換率傾向</li> </ul>
月末の	人事部長会議で	採用責任者が	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目標対実績レポート</li> <li>・ 応募概要レポートを使って</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目標に対する進捗</li> <li>・ GoodとMoreの共有</li> <li>・ 次月以降の目標達成に向けた対応策</li> </ul>

**HRMOS** 採用  
ハーモス